G-scan

取扱説明書（レクサス編）

もくじ

ご使用になる前に......1

はじめに......2

安全にご利用になるために......3

診断機能......5

自己診断機能......6

作業サポート機能......13

カスタマイズ機能......28

ご使用になる前に

ご使用になる前に...1
はじめに...2
安全にご利用になるために...3
診断機能...5
自己診断機能...6
作業サポート機能...13
カスタマイズ機能...28

はじめに

本取扱説明書では、レクサス車の診断方法に関してご説明させていただきます。ご使用の前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。本体の基本的な操作は、本体の取扱説明書をご覧ください。

株式会社インターサポート

安全にご利用になるために

ご使用になる前に

■ 本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前に、必ず本取扱説明書ならびに添付のその他の取扱説明書を必ずお読みください。

■ 本取扱説明書および添付のその他の取扱説明書では、人に対する危害や財産への損傷を未然に防止するために、危険を伴う操作、お取扱について、次の記号で警告または、注意しています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が負傷を負う可能性、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

本製品を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

以下に述べられている警告や他の案内を無視した事が原因となる製品の損害や、被害などに関しては、当社は一切責任を負いません。

⚠ 警告

- 走行状態でご使用になる場合には、必ず運転者、操作者の2人でご使用ください。操作に気を取られて事故につながる恐れがあります。
- アクティブテスト、作業サポートはレクサスのサービスマニュアルにより各システムの駆動システム、制御内容を十分に理解した上で行ってください。使用方法を間違えると、車両に悪影響をおよぼし事故発生の原因となる恐れがあります。
- アクティブテスト、作業サポートは車両が正常な状態(ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時)および、車両停止状態(パーキングブレーキをかけて、輪留めをする)で実行してください。

⚠ 注意

- レクサス車または、レクサス製造のOEM車以外に使用しないでください。

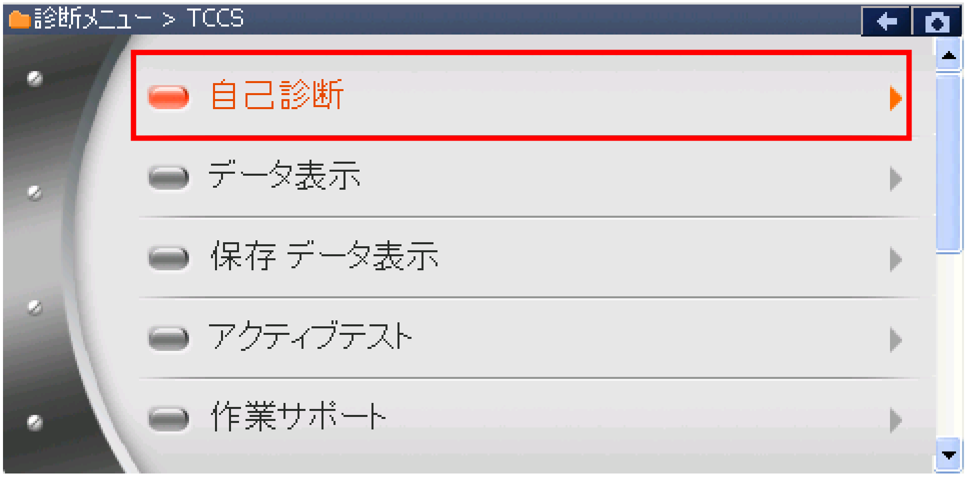
診断機能

自己診断機能 6
作業サポート機能 13
カスタマイズ機能 28

自己診断機能

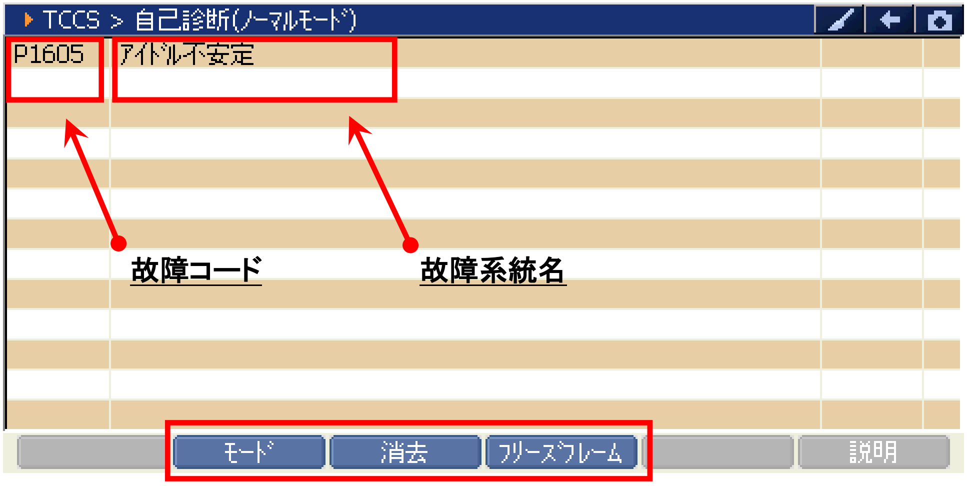
診断機能

1）診断メニューにおいて『自己診断』を選択して ENTER ボタンを押してください。



〈図：診断メニューにて自己診断を選択〉

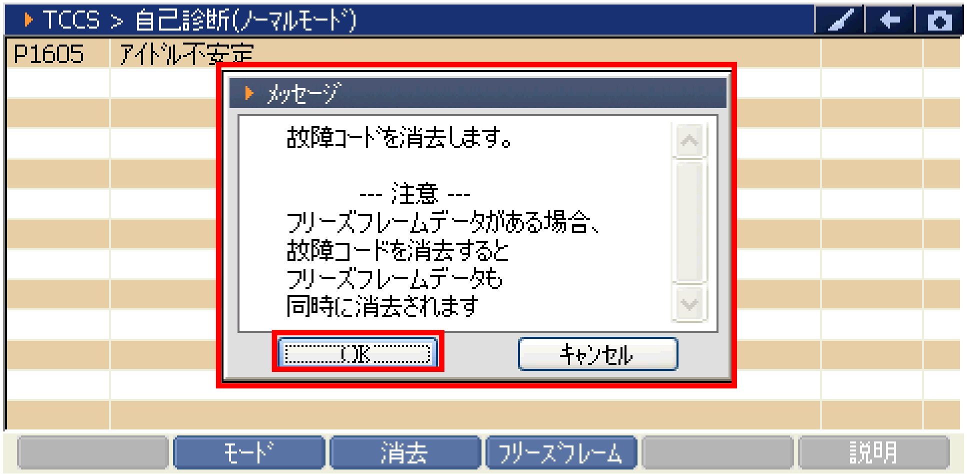
2）自己診断画面が表示され、記憶された故障コードが表示されます。



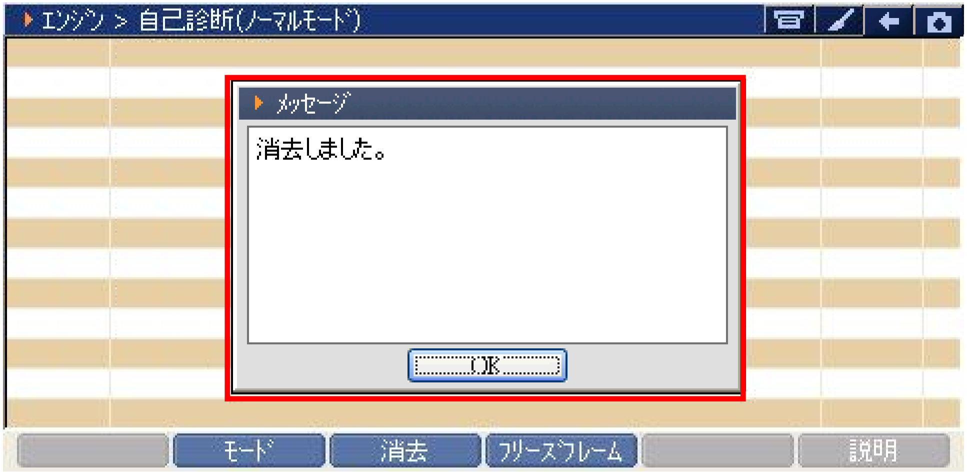
〈図：自己診断画面〉

故障コード	：	SAEコード（例：P0135）が表示されます。
故障系統名	：	故障系統名が表示されます。 故障内容の詳細に関しては、レクサスのサービスマニュアルをご参照ください。
[モード]		ノーマルモードとチェックモード（テストモード）の切替をします。
[消去]		自己診断記憶を消去します。
[フリーズフレーム]		フリーズフレームデータを表示します。

3） [消去] ボタンをタッチ、又は [F3] ボタンを押すと故障コードを消去します。以下の画面が表示されますので、[OK] ボタンをタッチして故障コードを消去してください。



〈図：故障コードの消去〉

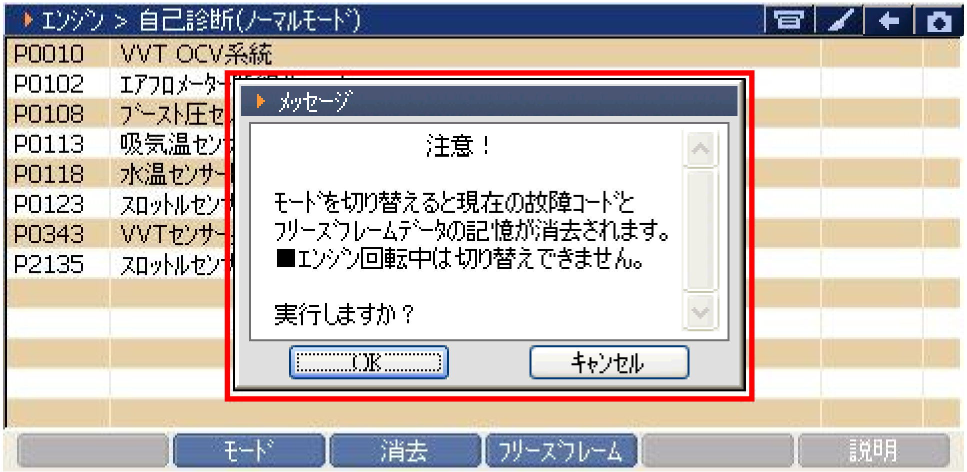


〈図：故障コードの消去完了〉

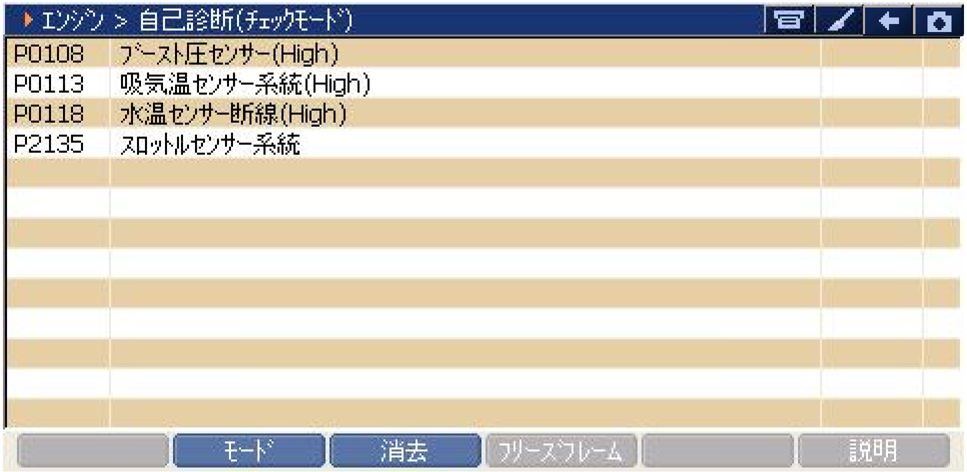
■ モード ボタンの詳細

① モード ボタンをタッチ、又は F2 ボタンを押すとノーマルモードとチェックモード（テストモード）の切替えが行えます。

以下の画面が表示されますので、よろしければ OK ボタンをタッチしてください。モードが切替わります。



〈図：モード切替〉



〈図：チェックモード（テストモード）での表示〉

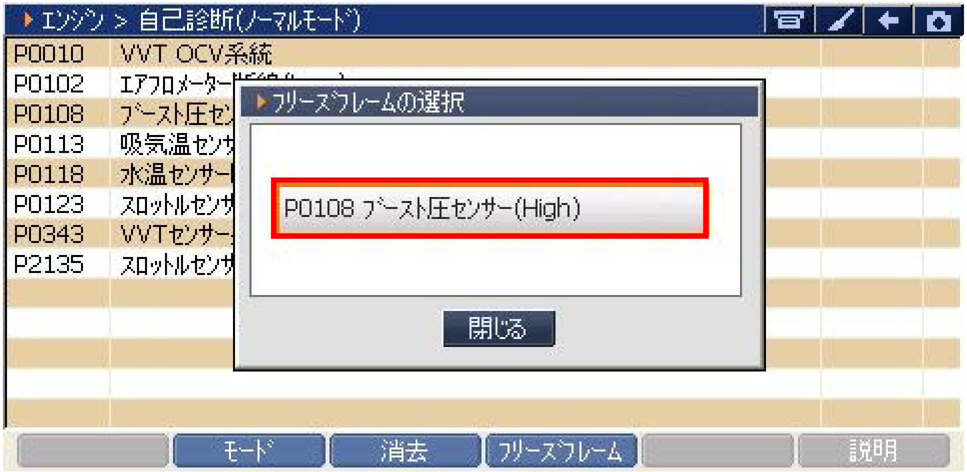
※注意と補足※

- チェックモードとは、通常のノーマルモードに比べて異常検出感度を向上させた機能です。各センサの異常が考えられるにも関わらず、ノーマルモードで検出できない場合に使用します。
- テストモードとは定められた手順に従って車両を操作し、各センサのチェックを行う機能です。テストモードを実行すると、異常ではなくてもテストモードコードを出力することがあります。詳細に関してはレクサスのサービスマニュアルをご参照ください。

■ フリーズフレーム ボタンの詳細

1）HV(ハイブリッド)システム以外の場合

① フリーズフレーム ボタンをタッチ、又は F4 ボタンを押すと以下の画面が表示されます。フリーズフレームデータを表示する故障コードを選択してください。



〈図：表示するフリーズフレームデータの選択〉

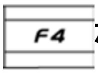
② 故障コードを選択すると、フリーズフレームデータが表示されます。

戻る ボタンをタッチ、又は F1 ボタンを押すと自己診断画面に戻ります。

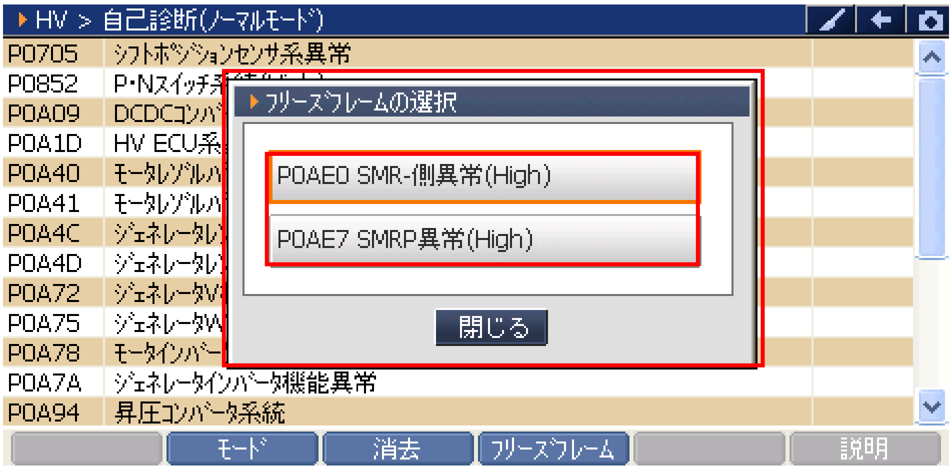
〈図：フリーズフレームデータの表示〉

2）HV(ハイブリッド)システムの場合

①

ボタンをタッチ、又は 

ボタンを押すと以下の画面が表示されます。フリーズフレームデータを表示する故障コードを選択してください。

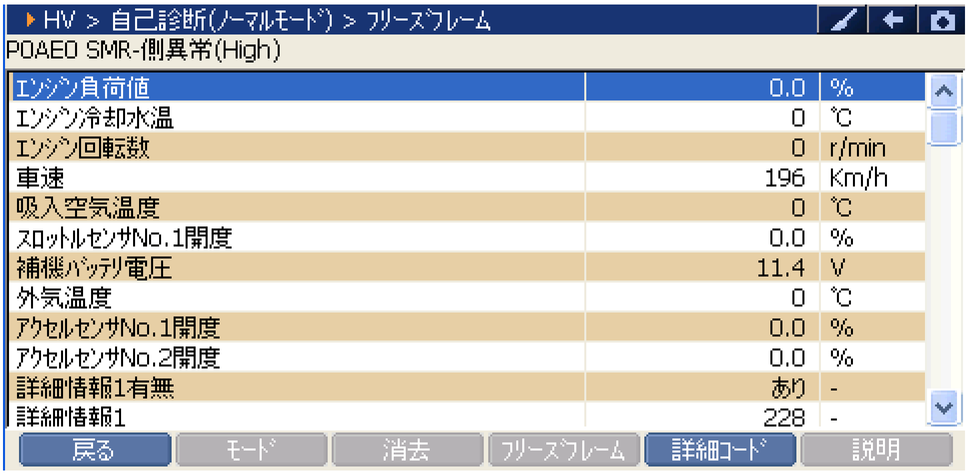


〈図：表示するフリーズフレームデータの選択〉

② 故障コードを選択すると、フリーズフレームデータが表示されます。

ボタンをタッチ、又は

ボタンを押すと自己診断画面に戻ります。

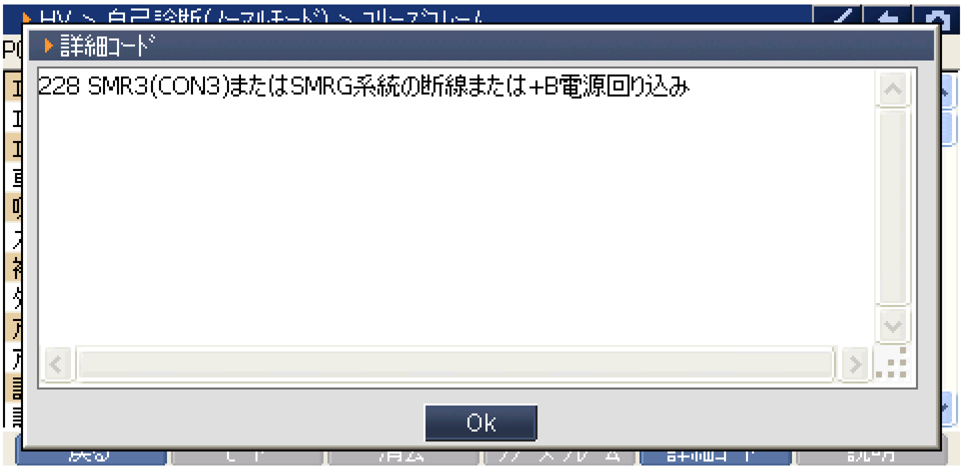


〈図：フリーズフレームデータの表示〉

③

ボタンをタッチ、又は

ボタンを押すと詳細コードが表示されます。



〈図：詳細コードの表示〉

※注意と補足※

- フリーズフレームデータとは故障コード発生・検出時のデータがECU（コンピュータ）によって記録されたものです。記憶されるデータの種類は車載ECUによって決められていて、故障コードに関連したデータ（エンジン回転数、車速、燃料補正値、冷却水温等）が記憶されます。
- フリーズフレームデータは故障コード消去後、最初の故障コード発生と同時に1回だけ記憶されます。
- 詳細コードとは故障コードを細分化したコードを示します。
- 詳細コードはフリーズフレームデータがなければ詳細コードは確認できません。
- フリーズフレームデータ、詳細コードは故障コードを消去する時に同時に消去されます。
- フリーズフレームデータは最大2つまで表示されます。

⚠ 警告

- 作業サポートはレクサスのサービスマニュアルにより各システムの駆動システム、制御内容を十分に理解した上で行ってください。
- 使用方法を間違えると車両に悪影響をおよぼし、事故発生の原因となる恐れがあります。
- 作業サポートは車両が正常な状態（ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時）で実行してください。
- 作業サポートを実行する場合は必ず車両を以下の状態にしてください。
  車両をこの状態にできない場合は作業サポートを実行しないでください。
  1. 車両停止状態。（パーキングブレーキをかけて、輪留めをする）
  2. ブレーキペダルを踏込む。
  3. ギア位置はPレンジまたはNレンジにする。

作業サポート対応項目一覧は以下のとおりです。

＜＜TCCS＞＞

項目	説明
A/Fセンサ学習値初期化	ディーゼル車のみ対応： A/Fセンサ交換時に実施します。
AT/CVT学習値初期化	ATまたはCVT交換時、 及びECU交換時に実施します。
CVT油圧学習開始	CVT交換時、ECU交換時に実施します。
DPNR強制再生(PM)	ディーゼル車のみ対応： DPNRのPM強制再生を実施します。
DPNR強制再生(S)	ディーゼル車のみ対応： DPNRのS被毒強制再生を実施します。
DPNR劣化記録初期化	ディーゼル車のみ対応： DPNRの劣化記録を初期化します。
DPR強制再生	ディーゼル車のみ対応： DPRのPM強制再生を実施します。
Gセンサ0点学習開始	CVT交換時、CVT関連部品交換時、 及びECU交換時に実施します。

＜＜TCCS 続き＞＞

項目	説明
S被毒回復制御	ディーゼル車のみ対応： DPNRのS被毒強制再生を実施します。
インジェクタIDコード登録(ECU交換時)	ディーゼル車のみ、ECU交換時のみ対応： インジェクタIDコードを登録します。
インジェクタIDチェック	ディーゼル車のみ対応： インジェクタIDコードを確認します。
インジェクタクラス確認	ディーゼル車のみ対応： 現在車両に搭載されているインジェクタクラス を表示します。 A、B、Cクラスと設定されているインジェクタ が該当する項目です。
インジェクタクラス設定	ディーゼル車のみ対応： エンジンコントロールコンピュータ交換後 またはインジェクタASSY(全ての本数) 交換時に実施します。 A、B、Cクラスと設定されているインジェクタ が該当する項目です。
インジェクタ補正(手動ID登録)	ディーゼル車のみ対応： インジェクタASSY、エンジンまたは エンジンコンピュータ(旧データ)を交換時に 実施します。
サプライポンプ学習値初期化	ディーゼル車のみ対応： インジェクション(サプライ)ポンプまたは エンジンコントロールコンピュータを交換後に 実施します。
メモリリセット	エンジンコンピュータの記憶をリセットします。
広域気筒間補正学習値初期化	ディーゼル車のみ対応： エンジン交換時またはタイミングロータ (エンジンASSYを含む)を交換時に 実施します。
車両走行距離書込み	ディーゼル車のみ対応： インジェクタASSYを交換した時に実施します。
触媒記録初期化	ディーゼルのみ対応： DPNRの触媒記録を初期化します。
電子スロットル学習	電子スロットルバルブの全閉位置学習を 実施します。
微小噴射量詳細学習	ディーゼルのみ対応： エンジンASSY、インジェクタを交換時に 微小噴射量を学習するために使用します。
微小噴射量通常学習	ディーゼルのみ対応： インジェクタASSY、エンジンまたは エンジンコントロールコンピュータ交換時、 インジェクタ補正(手動ID登録)を実施後に 行います。
微小噴射量通常学習初期化	ディーゼルのみ対応： 微笑噴射量通常学習値を初期化します。

＜＜ECT･SMT･MMT＞＞

項目	説明
AT/CVT学習値初期化	ATまたはCVT交換時、 及びECU交換時に実施します。
ATユニット補正(ATコード初期化)	AT ASSYまたはATコントロールコンピュータを 交換時に実施します。
CVT油圧学習開始	CVT交換時、ECU交換時に実施します。
Gセンサ0点学習開始	CVT交換時、CVT関連部品交換時、 及びECU交換時に実施します。
クラッチ調整回数	クラッチの調整回数を確認します。
チェックモード	チェックモードに移行します。
メモリリセット	ECT ECUの学習値をリセットします。
部品交換	SMTの部品交換をした時に実施します。

＜＜HV＞＞

項目	説明
整備モード 2WD	2WDの車両でスピードメーターテスター、 2輪シャシダイナモメーターでの試験などで 実施します。
整備モード 2WD(TRC禁止用)	2WDの車両でスピードメーターテスター、 2輪シャシダイナモメーターでの試験などで 実施します。 TRC装置の作動禁止を行います。
整備モード 2WD(排ガス測定用)	点火時期点検などのエンジン調整、 車両検査時のアイドルCO/HC点検などで 実施します。 シフトポジションP時の エンジン強制アイドリングを行います。
整備モード 4WD	4WDの車両でスピードメーターテスター、 4輪シャシダイナモメーターでの試験などで 実施します。
整備モード 4WD(TRC禁止用)	4WDの車両でスピードメーターテスター、 4輪シャシダイナモメーターでの試験などで 実施します。 TRC装置の作動禁止を行います。
整備モード 4WD(排ガス測定用)	点火時期点検などのエンジン調整、 車両検査時のアイドルCO/HC点検などで 実施します。 シフトポジションP時の エンジン強制アイドリングを行います。
電池制御データ初期化	システムメインリレーを交換時に実施します。

＜＜電池＞＞

項目	説明
ECU初期化	HVサプライバッテリASSY交換時に実施します。
ECU初期化(海外向け)	HVサプライバッテリASSY交換時に実施します。
SOC書き換え(試験運用機能)	SOCを書き換えます。
V80制御フラグ許可(試験運用機能)	V80制御設定を行います。
均等充電フラグ許可(試験運用機能)	オンボード均等充電を実行します。

＜＜FCHV＞＞

項目	説明
整備モード	整備モードに移行します。

＜＜ABS･VSC＞＞

項目	説明
VSC系0点消去	VSC関連のセンサを交換または ECU交換時に実施します。
アキュムレータ0ダウン駆動	ブレーキアクチュエータ交換時に実施します。
アクチュエータ交換後のエア抜き	ECBシステムのみ対応： アクチュエータ交換時のエア抜きの時に 実施します。
エア抜き	VSC、ECB、ハイドロブースタの ブレーキアクチュエータ内のソレノイドを 駆動して、アクチュエータ内の エアを抜く作業です。
エア抜き(海外向け)	VSC、ECB、ハイドロブースタの ブレーキアクチュエータ内のソレノイドを 駆動して、アクチュエータ内の エアを抜く作業です。
テストモード	テストモードに移行します。
バックアップメモリ消去	ECUのバックアップメモリの 消去(初期化)を実施します。
ヨーレート･Gセンサ0点消去(ECB用)	ヨーレートセンサ･Gセンサ交換時、 またはECU交換時に実施します。
リニア弁学習値初期化	ブレーキアクチュエータ交換時、 ブレーキペダルストロークセンサ交換時、 ECU交換時に実施します。
吸入系エア抜き	VSCシステムのみ対応： 吸入系エア抜きを実施します。
減圧系エア抜き	VSCシステムのみ対応： 減圧系エア抜きを実施します。
整備モード	ハイブリッド車以外の車両が該当： スピードメーターテスター、 2輪シャシダイナモメーターでの試験など で実施します。 TRC装置の作動禁止を行います。
通常のエア抜き	ECBシステムのみ対応： 通常のエア抜きの時に実施します。
VSCセンサー中立点記憶	VSCセンサー中立点記憶します。

＜＜ABS･VSC･ARS＞＞

項目	説明
エア抜き	VSC、ECB、ハイドロブースタの ブレーキアクチュエータ内のソレノイドを 駆動して、アクチュエータ内の エアを抜く作業です。
バックアップメモリ消去	ECUのバックアップメモリの 消去(初期化)を実施します。
吸入系エア抜き	VSCシステムのみ対応： 吸入系エア抜きを実施します。
減圧系エア抜き	VSCシステムのみ対応： 減圧系エア抜きを実施します。

＜＜電動PKB＞＞

項目	説明
メモリリセット	電子パーキングブレーキコンピュータの 学習値を消去します。

＜＜電動パワステ＞＞

項目	説明
ステアリング0点補正	パワーステアリングリンクコンピュータ、 ステアリングコラムASSY(トルクセンサ内臓) 交換を行った場合、および打操舵力に 左右差がある場合に実施します。
回転角センサ出力補正	パワーステアリングASSY、 パワーステアリングコンピュータASSY 交換を行った場合や操舵力に 左右差がある場合は、 コンピュータのセンサ補正値を消去した後、 回転角センサ出力補正および トルクセンサ0点補正を実施します。

＜＜VGRS＞＞

項目	説明
ステアリング角調整	ステアリング角度調整を行います。

＜＜イモビライザ＞＞

項目	説明
イモビライザ初期化	イモビライザ初期化時に実施します。
キーコードの消去	キーコードを消去します。
キーコードの登録	キーコードを登録します。
キーコード消去	キーコードを消去します。
キーコード登録(マスターキー付)	マスターキー付のキーコードを登録します。
トランスポンダコード消去	トランスポンダコードを消去します。
トランスポンダコード登録	トランスポンダコードを登録します。
自動登録	キーコードを自動登録します。

＜＜エアコン＞＞

項目	説明
サーボモータ初期化	サーボモータECU、 A/Cアンプリファイアを交換した時、 バッテリを外した時に実施します。

＜＜タイヤ空気圧＞＞

項目	説明
ID登録	タイヤID登録を実施します。

＜＜ボデー＞＞

項目	説明
ボディコントロールモジュール初期化	ECU接続情報を初期化します。
ワイヤレスコード消去	ワイヤレスコードを消去します。
ワイヤレスコード登録	ワイヤレスコードを登録します。

＜＜ゲートウェイ＞＞

項目	説明
ECU接続情報初期化	オプション装備の取り外し時、 ECUの追加、取り外し時に実施します。

＜＜ECBゲートウェイ＞＞

項目	説明
ECU接続情報初期化	オプション装備の取り外し時、 ECUの追加、取り外し時に実施します。

＜＜ECMゲートウェイ＞＞

項目	説明
ECU接続情報初期化	オプション装備の取り外し時、 ECUの追加、取り外し時に実施します。

＜＜パワマネゲートウェイ1＞＞

項目	説明
ECU接続情報初期化	オプション装備の取り外し時、 ECUの追加、取り外し時に実施します。

＜＜パワマネゲートウェイ2＞＞

項目	説明
ECU接続情報初期化	オプション装備の取り外し時、 ECUの追加、取り外し時に実施します。

＜＜照合＞＞

項目	説明
キーコードの消去	キーコードを消去します。
キーコードの登録	キーコードを登録します。
キー通信チェック	キーとトランスミッタとチューナーの通信チェックを行います。

＜＜AFS＞＞

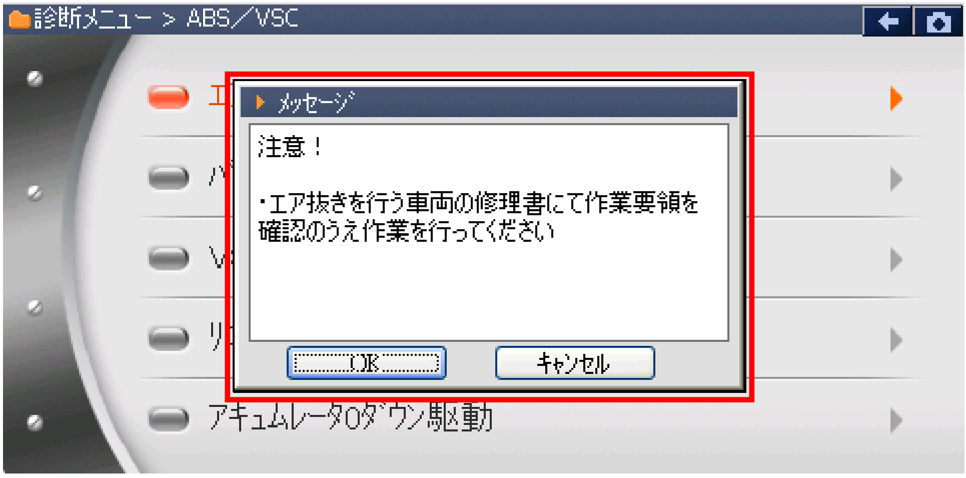
項目	説明
ECU情報同期	AFS ECUがエンジンとボディECUからの情報を同期するために使用します。
AFS ECU 初期化(手動)	手動でのAFSの初期化を行います。

ABS/VSCシステム ≪作業サポート「エア抜き」≫

警告
● エア抜きを行う場合は、レクサスのサービスマニュアルにて作業要領を確認の上作業を行ってください。 ● 使用方法を間違えると車両に悪影響をおよぼし、事故発生の原因となる恐れがあります。

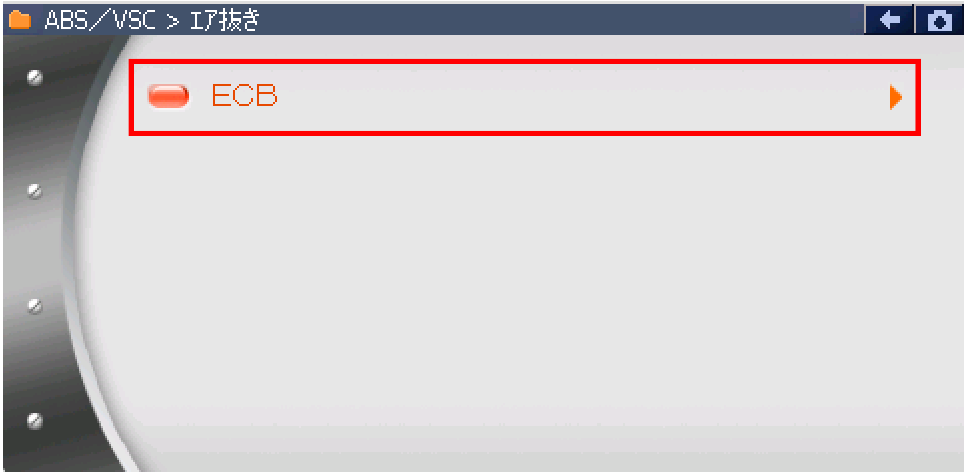
■エア抜き＜例1＞

1） 作業サポート項目選択画面で、『エア抜き』を選択した場合、以下の注意画面が表示されます。注意事項を確認して、よろしければ OK ボタンをタッチしてください。



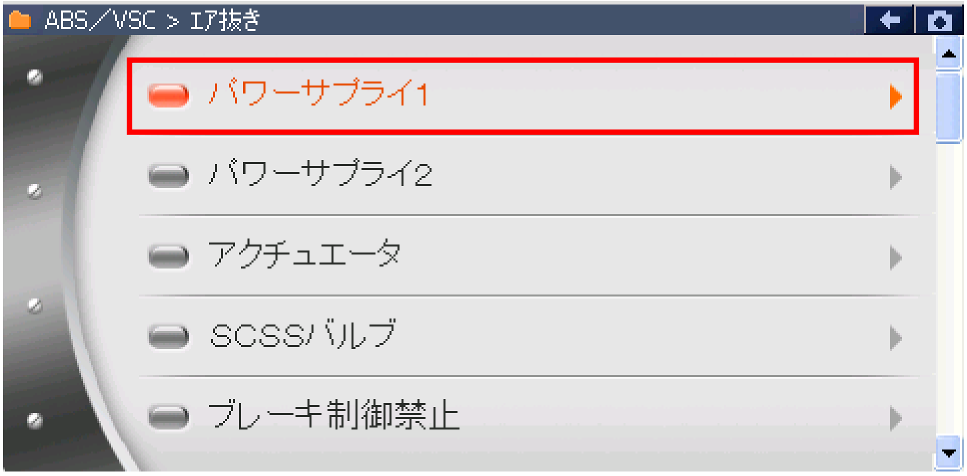
〈図：エア抜きの注意画面〉

2） 実行するブレーキの種類を選択して ENTER ボタンを押してください。



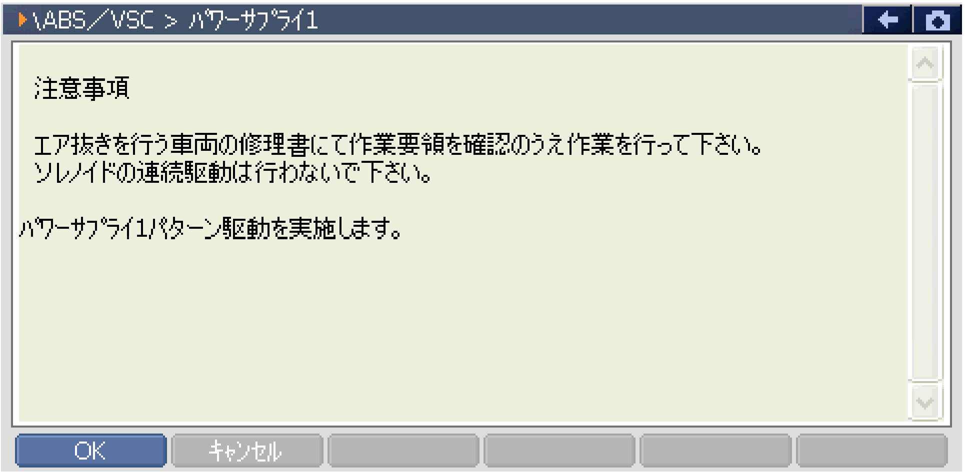
〈図：ブレーキの種類を選択〉

3） エア抜きの作業項目一覧が表示されます。作業項目を選択して ENTER ボタンを押してください。



〈図：作業項目の選択〉

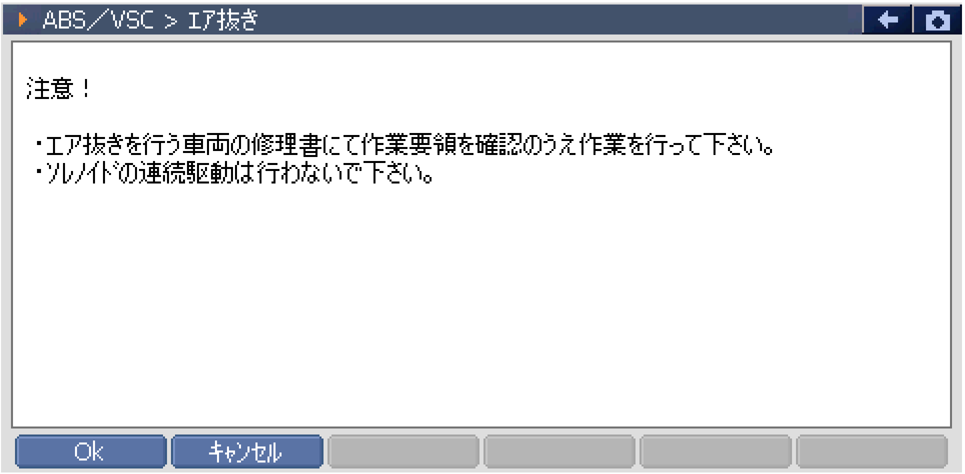
4） 画面の指示に従い、エア抜きを実行してください。



〈図：作業項目の実行〉

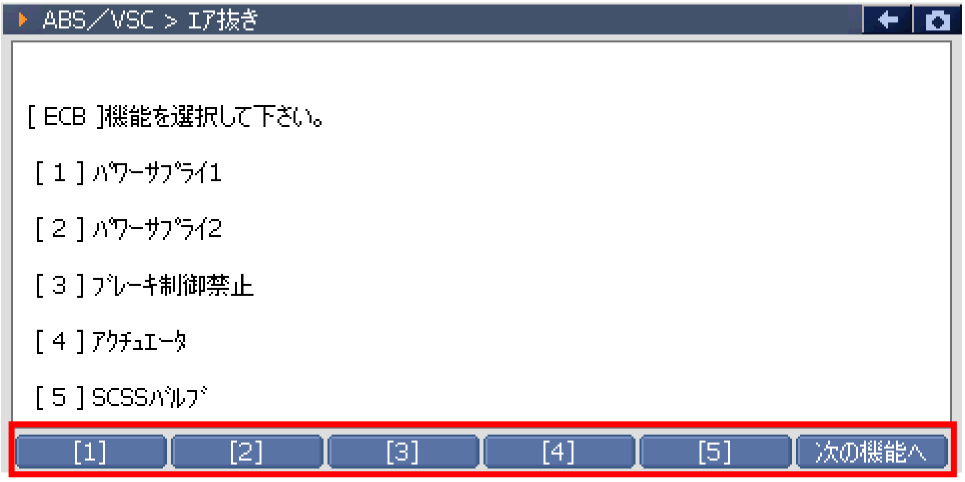
■エア抜き＜例2＞

1）作業サポート項目選択画面で、『エア抜き』を選択した場合、以下の注意画面が表示されます。注意事項を確認して、よろしければ Ok ボタンをタッチしてください。



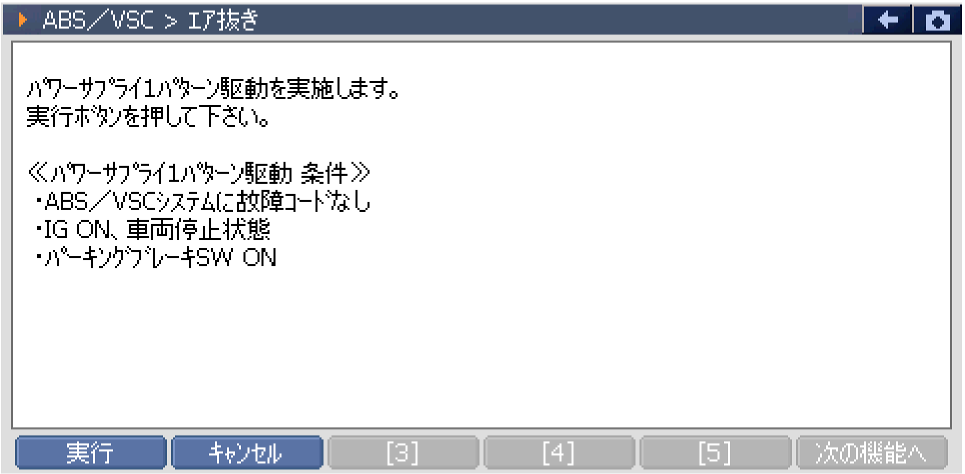
〈図：エア抜きの注意画面〉

2）診断車両によりECBまたはVSCの作業項目一覧が表示されます。作業項目の番号ボタンをタッチしてください。



〈図：作業項目の選択〉

3）画面の指示に従い、エア抜きを実行してください。



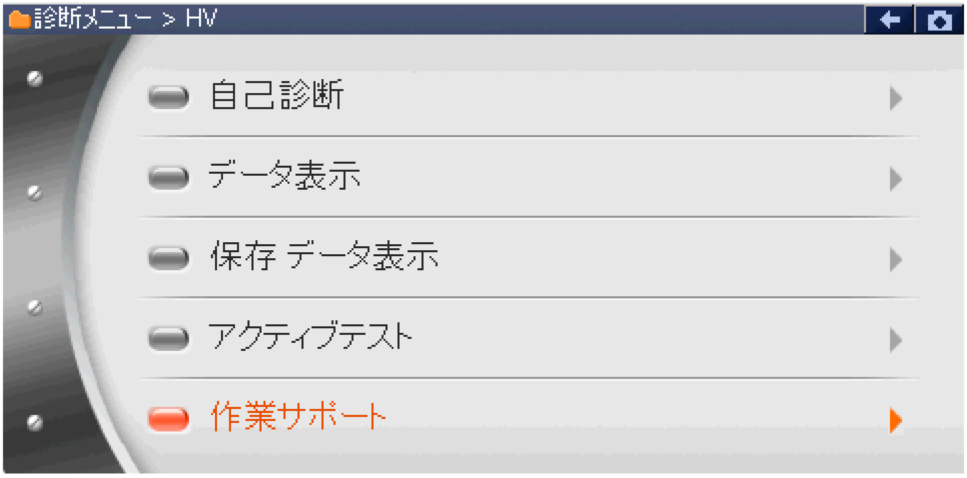
〈図：作業項目の実行〉

※注意と補足※

- ソレノイドを駆動した場合、駆動停止後ソレノイド保護のため約20秒間はソレノイド駆動できません。また、この間は操作もできません。
- 診断車両によっては、エア抜きの一連の作業中にABS／VSCシステムに故障コードが記憶される場合があります。エア抜きの各作業を行う際には故障コードが記憶されていないことを確認してください。
- エア抜きの作業項目は車種、システムによって異なります。
詳細に関してはレクサスのサービスマニュアルをご参照ください。

HV(ハイブリッド) ≪作業サポート｢整備モード 2WD(排ガス測定用)｣≫

1) 診断メニューにおいて『作業サポート』を選択して ENTER ボタンを押してください。

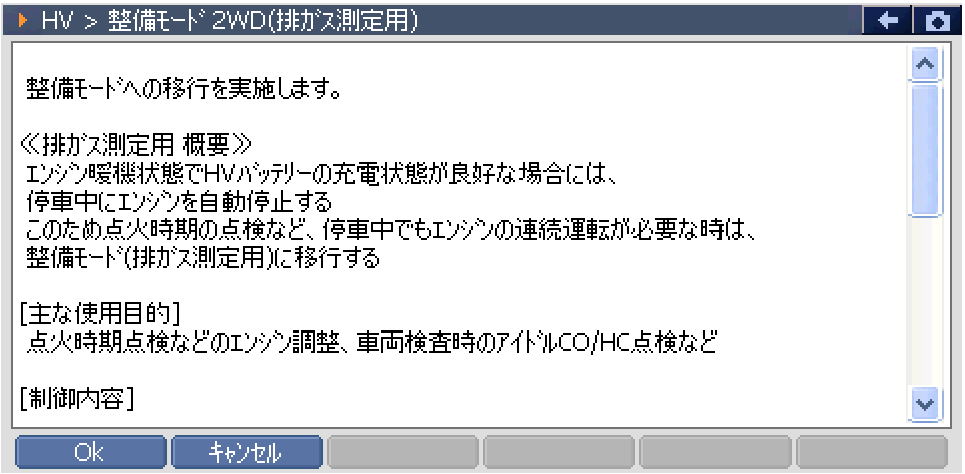


〈図：診断メニューにて作業サポートを選択〉

2) 作業サポート項目選択画面が表示されます。整備モード 2WD(排ガス測定用)を選択して ENTER ボタンを押してください。

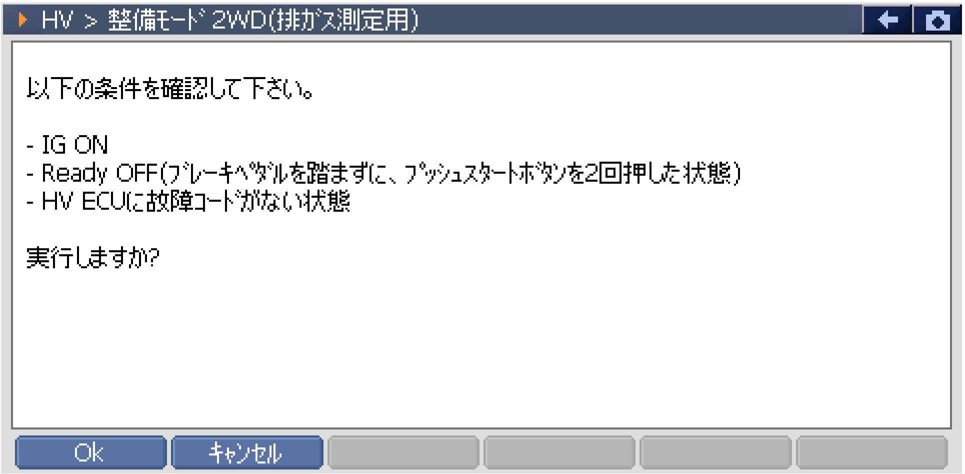
〈図：作業サポート項目選択画面〉

3）整備モード　2WD(排ガス測定用)実行画面が表示されます。画面の指示に従って作業サポートを実行してください。



〈図：整備モード　2WD(排ガス測定用）確認画面〉

4）「OK」を押すと、下記のように表示されます。条件を見たいしていることを確認して「OK」を押してください。

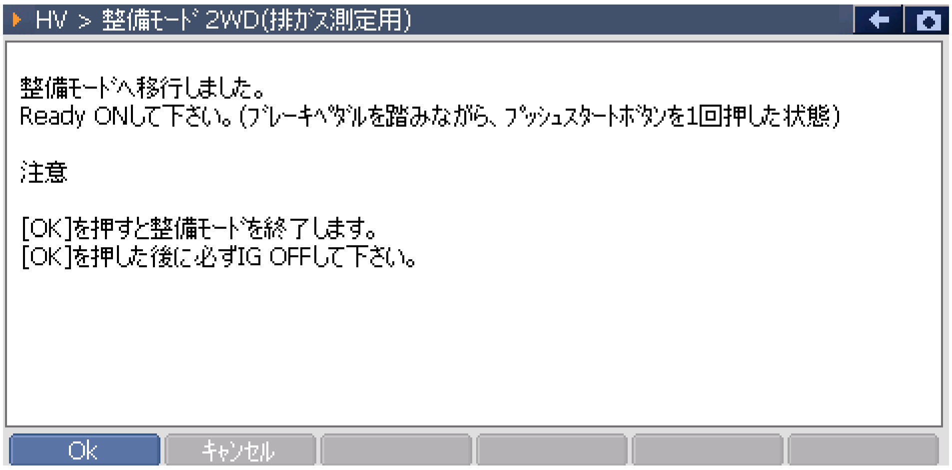


〈図：整備モード　2WD(排ガス測定用）条件確認画面〉

5）整備モードに移行されると、下記のように表示されます。

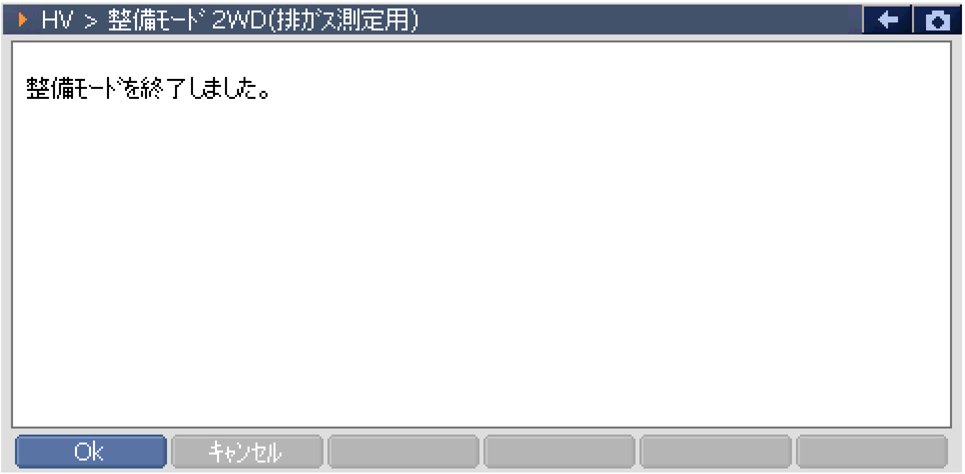
車両をReady ONの状態にしてアイドリングが継続されるか確認してください。

整備モードを終了する場合は、「OK」を押してください。



〈図：整備モード 2WD(排ガス測定用) 移行画面〉

6）整備モードを終了したことをお知らせします。



〈図：整備モード 2WD(排ガス測定用) 終了画面〉

カスタマイズ機能

カスタマイズ機能とは、車両の設定を変更する機能です。

対応しているカスタマイズ機能は以下の通りです。

＜＜ワイヤレスドアロック＞＞

項目	説明
2オペレーションロック解除	2オペレーションロック解除の設定を変更します。
アンロック時室内照明・足元照明	アンロック時の室内照明と足元照明の 設定を変更します。
オートロック時間	オートロック時間の設定を変更します。
カーファインダー機能	カーファインダー機能の設定を変更します。
キーレスアンサーバック	キーレスアンサーバックの設定を変更します。
トランクオープナー	トランクオープナーの設定を変更します。
パニックアラーム機能	パニックアラーム機能の設定を変更します。
パニック機能	パニック機能の設定を変更します。
ワイヤレスオートロック	ワイヤレスオートロックの設定を変更します。
ワイヤレスガラスハッチ開機能コード選択	ワイヤレスガラスハッチ開機能コード選択 の設定を変更します。
ワイヤレスメインSW	ワイヤレスメインSWの設定を変更します。
ワイヤレス連動P/Wアップ	ワイヤレス連像P/Wアップの設定を変更します。
ワイヤレス連動P/Wダウン	ワイヤレス連動P/Wダウンの設定を変更します。
作動確認ブザー音量	作動確認ブザー音量の設定を変更します。
半ドアウォーニング	半ドアウォーニングの設定を変更します。

＜＜ドアロック＞＞

項目	説明
D席2回操作アンロック	運転席2回操作アンロックの設定を変更します。
D席開時アンロック	運転席開時アンロックの設定を変更します。
シフト・ブレーキ連動ドアロック	シフト・ブレーキ連動ドアロックの 設定を変更します。
シフト連動ドアアンロック	シフト連動ドアアンロックの設定を変更します。
シフト連動ドアロック	シフト連動ドアロックの設定変更をします。
ダブルロック設定	ダブルロック設定を変更します。
メカキーでのセキュリティ解除	メカキーでのセキュリティ解除の 設定を変更します。
車速オートロック	車速オートロックの設定を変更します。
車速オートロック(1回)	車速オートロック(1回)の設定を変更します。

＜＜セキュリティ＞＞

項目	説明
Passiveモード	Passiveモードの設定を変更します。
Passiveモード(セキュリティシステム)	Passiveモード(セキュリティシステム)の 設定を変更します。
アンサーバック	アンサーバックの設定を変更します。
ウインドウオープン警告	ウインドウオープン警告の設定を変更します。
ガラス割れセンサによる警報	ガラス割れセンサによる警告の設定を変更します。
スライドルーフオープン警告	スライドルーフオープン警告の設定を変更します。
セキュリティインジケータ	セキュリティインジケータの設定を変更します。
ホーン警告	ホーン警告の設定します。
メカキーでのセキュリティ解除	メカキーでのセキュリティ解除の 設定を変更します。
メカニカルキーセキュリティ制御	メカニカルキーセキュリティ制御の 設定を変更します。
警告作動時間	警告作動時間の設定を変更します。
警告作動遅延時間	警告作動遅延時間の設定を変更します。
侵入センサ	侵入センサの設定を変更します。
窓開侵入センサ	窓開侵入センサの設定を変更します。

＜＜パワーウインドウ＞＞

項目	説明
D席リモートP席オートUP作動	運転席のリモート操作で 助手席のパワーウインドウをオートUP作動 させる設定を変更します。
D席リモートRL席オートUP作動	運転席のリモート操作で RL席のパワーウインドウをオートUP作動 させる設定を変更します。
D席リモートRR席オートUP作動	運転席のリモート操作で RR席のパワーウインドウをオートUP作動 させる設定を変更します。
P/W全閉機能	パワーウインドウ全閉機能の設定を変更します。
P席オートUP作動	助手席パワーウインドウオートUP作動の 設定を変更します。
RL席オートUP作動	RL席パワーウインドウオートUP作動の 設定を変更します。
RR席オートUP作動	RR席パワーウインドウオートUP作動の 設定を変更します。
ドアキー連動バックドアP/Wアップ	ドアキーと連動したバックドア パワーウインドウアップ機能の 設定を変更します。
ドアキー連動バックドアP/Wダウン	ドアキーと連動したバックドア パワーウインドウダウン機能の 設定を変更します。
ドアトリガー P/W 制御	ドアトリガーパワーウインドウ制御の 設定を変更します。
ワイヤレス連動P/Wアップ	ワイヤレスキーと連動した パワーウインドウアップ機能の設定を変更します。

＜＜パワーウインドウ 続き＞＞

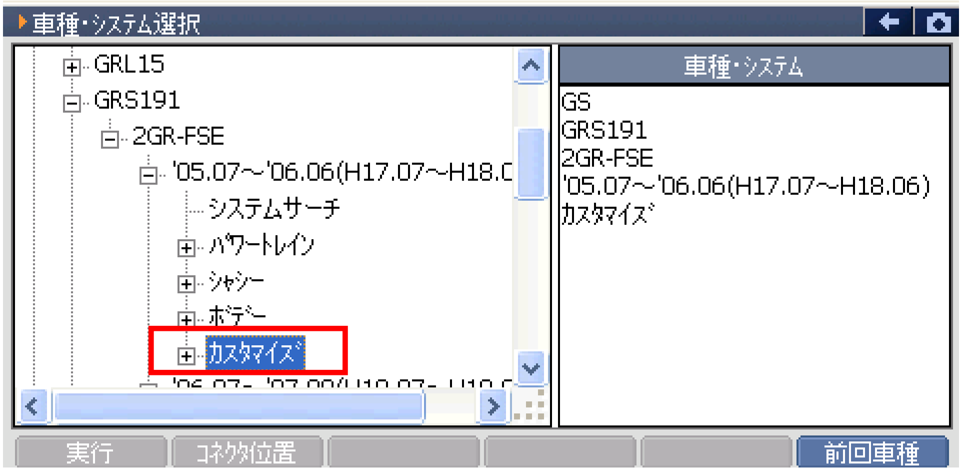
ワイヤレス連動P/Wアップ/スマート	ワイヤレスキーと連動した パワーウインドウアップ/スマート機能の 設定を変更します。
ワイヤレス連動P/Wダウン	ワイヤレスキーと連動した パワーウインドウダウン機能の 設定を変更します。

＜＜ワイパ＞＞

項目	説明
アングルモード	アングルモードの設定を変更します。
ウォッシャ液だれ防止機能	ウォッシャ液だれ防止機能の 設定を変更します。
ウォッシャ液だれ防止機能時間	ウォッシャ液だれ防止機能時間の 設定を変更します。
リアワイパインターバルスピード	リアワイパインターバルスピードの 設定を変更します。
リアワイパスピード	リアワイパスピードの設定を変更します。
リバース連動リヤワイパ	リバース連動リヤワイパの設定を変更します。
リヤウォッシャ液だれ防止機能	リヤウォッシャ液だれ防止機能の 設定を変更します。
リヤウォッシャ連動機能	リヤウォッシャ連動機能の設定を変更します。
リヤワイパLO時の停車間欠	リヤワイパLO時の停車間欠の 設定を変更します。
リヤワイパ戻りスピード	リヤワイパ戻りスピードの設定を変更します。
ワイパLO時の停車間欠	ワイパLO時の停車間欠の設定を変更します。
雨滴感知式オートワイパ	雨滴感知式オートワイパの 設定を変更します。

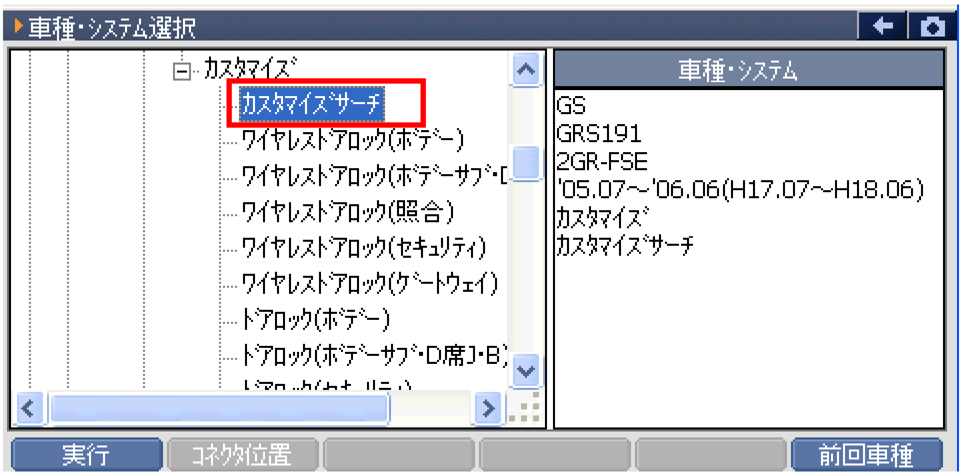
1）車種･システム選択画面で診断メニューにおいて『カスタマイズ』を選択して

ボタンを押してください。



〈図：カスタマイズを選択〉

2）対応しているカスタマイズ機能が表示されます。カスタマイズサーチを選択すると、車両に対応しているカスタマイズ機能を表示します。



〈図：カスタマイズサーチを選択〉

3）カスタマイズサーチ結果は、以下のように表示されます。

〈図:カスタマイズサーチ結果〉

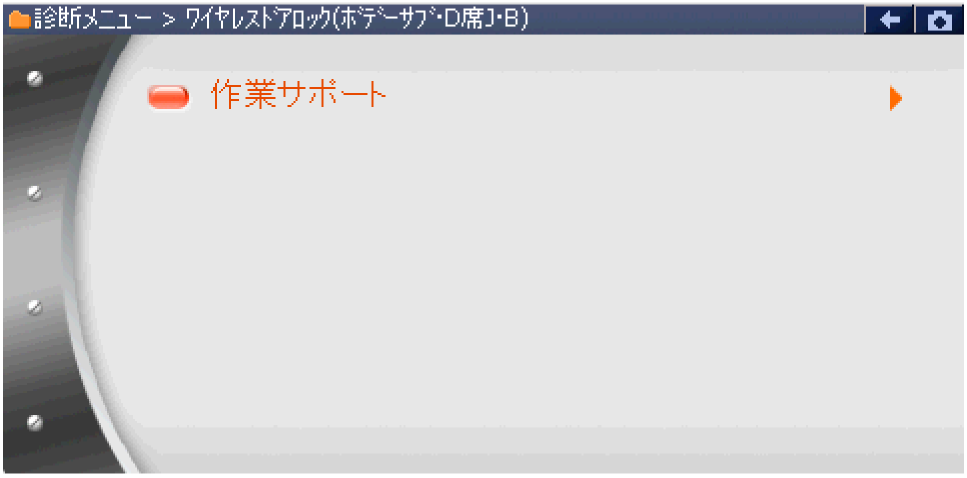
※ 注意と補足※

車両に搭載されているシステムによっては、対応していない項目があります。

≪カスタマイズ「ワイヤレスドアロック(ボデーサブ･D席J･B)」≫

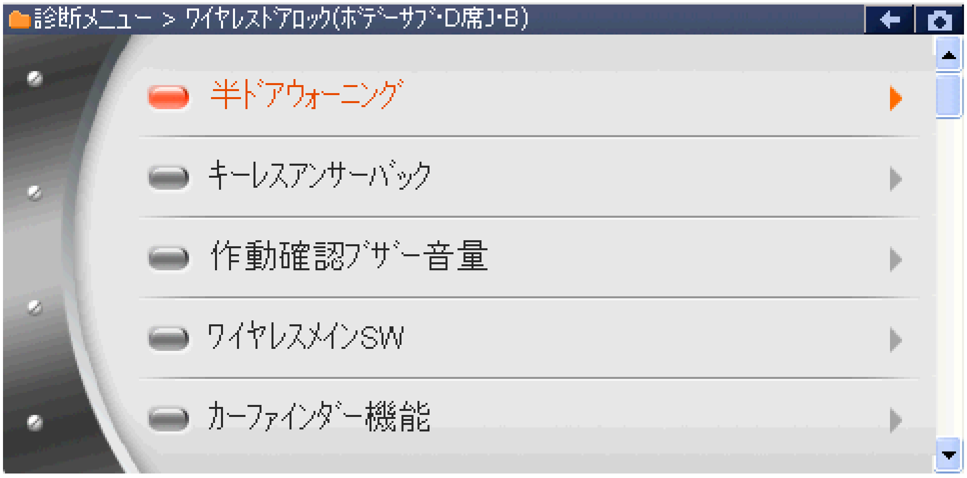
ワイヤレスドアロック(ボデーサブ･D席J･B)の半ドアウォーニング設定変更を例に説明をします。

1）作業サポートを選択してください。



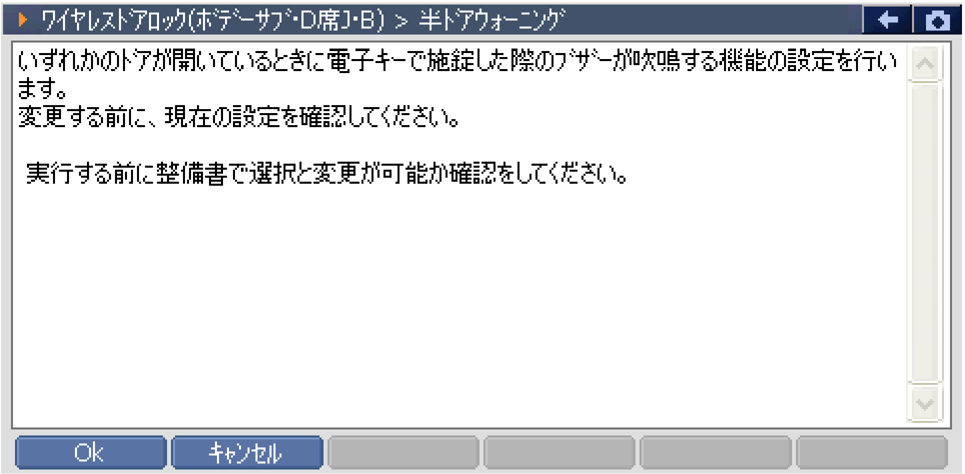
〈図：ワイヤレスドアロック(ボデーサブ･D席J･B）選択画面〉

2）作業サポートを選択すると、対応するカスタマイズ項目が表示されます。半ドアウォーニングを選択してください。



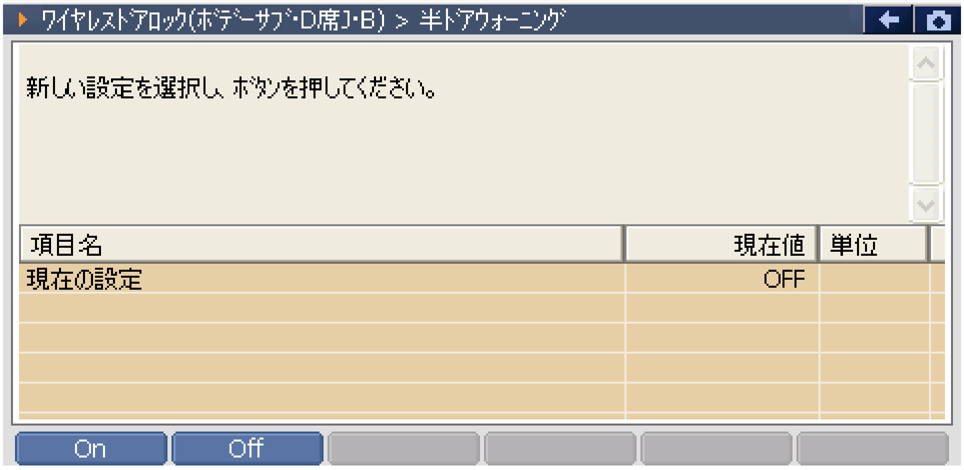
〈図：対応するカスタマイズ項目〉

3）半ドアウォーニングのカスタマイズについての説明が表示されます。実行する場合はOKボタンを押してください。



〈図：カスタマイズ　半ドアウォーニング注意画面〉

4）変更する内容に合わせたボタンを選択してください。ここでは、ON を選択した場合について説明します。



〈図：カスタマイズ　半ドアウォーニング　設定変更画面〉

5）ボタンを押すとカスタマイズ項目の確認画面に移ります。設定した内容を確認してください。

〈図：カスタマイズ　半ドアウォーニング　設定変更完了画面〉

株式会社 インターサポート

〒310-0836

茨城県水戸市元吉田町329-5

Tel 029-248-0616　Fax 029-248-1609

http://www.inter-support.co.jp

製品保守センター

（修理のお問合せはこちら）

Tel 029-304-0185

サポートセンター

（製品のご相談・ご質問はこちら）

Tel 0570-064-737 （ナビダイヤル※）

Fax 029-304-0167

※IP電話・PHSからはご利用出来ませんので、FAXでお問い合わせください。

2014年2月発行　第11版

本書を株式会社インターサポートの許可無く複写、複製、転載する事を禁じます。

本書に記載の製品、製品仕様、および使用方法は改良のために、将来予告なしに変更される場合があります。　G1PZFDN001-21-11